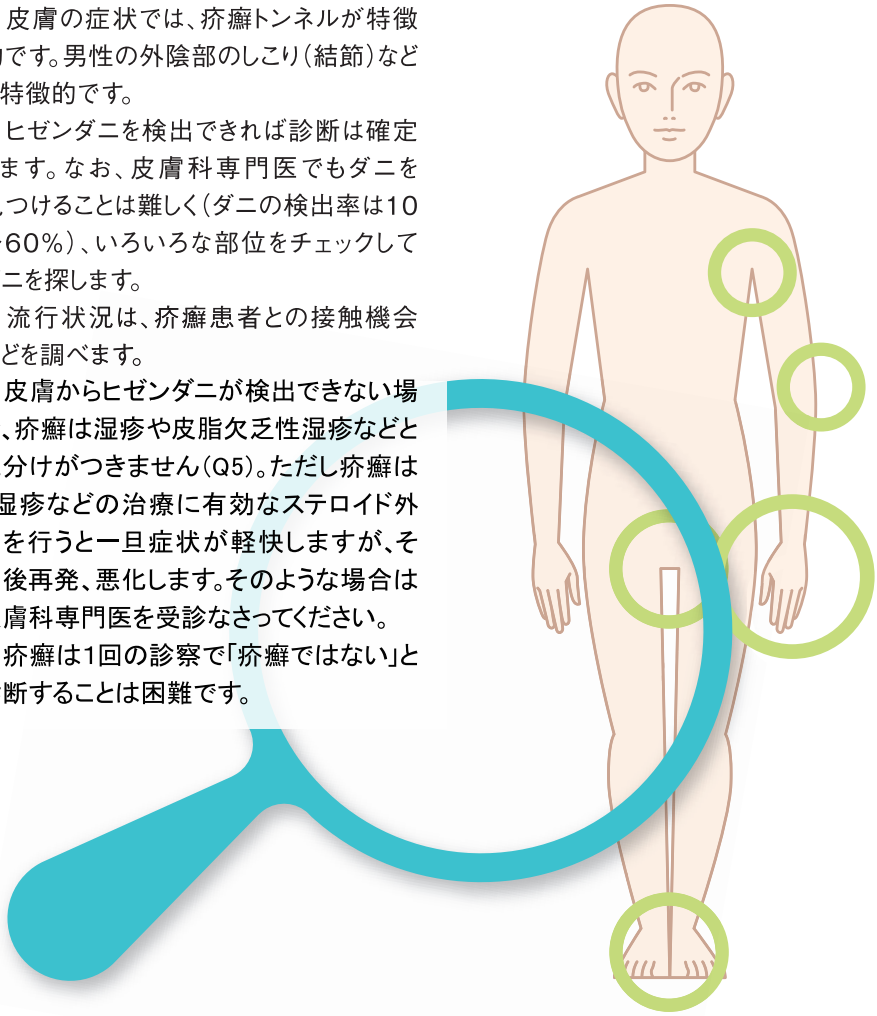
Q7. 疥癬はどうやって診断するの？

A7. 皮膚の疥癬トンネルや、ヒゼンダニの有無、流行状況などを総合して診断します。

皮膚の症状では、疥癬トンネルが特徴的です。男性の外陰部のしこり（結節）なども特徴的です。

ヒゼンダニを検出できれば診断は確定します。なお、皮膚科専門医でもダニを見つけることは難しく（ダニの検出率は10～60%）、いろいろな部位をチェックしてダニを探します。

流行状況は、疥癬患者との接触機会などを調べます。

皮膚からヒゼンダニが検出できない場合、疥癬は湿疹や皮脂欠乏性湿疹などと見分けがつきません（Q5）。ただし疥癬は、湿疹などの治療に有効なステロイド外用を行うと一旦症状が軽快しますが、その後再発、悪化します。そのような場合は皮膚科専門医を受診なさってください。

疥癬は1回の診察で「疥癬ではない」と診断することは困難です。